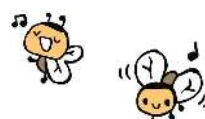




## あつい!のは、今年の夏とみんなの思い?

残暑お見舞い申し上げます。



とにかく、暑い夏ですね!そんな中でも子ども発達センターでは、暑さなどものともしない子どもたちの元気な声が毎日響いています。新しい体制での事業を始めて4か月が過ぎ、子どもも職員も新しい環境に慣れて、リラックスした表情がうかがえるようになりました。

昨年スタートした発達センター事業は、今年2年目。階段でいえば、やっと2段目に昇ったところです。

子どもを取り巻く状況とそれに応じて求められるものは、日々変化していくので、ここがゴールという日は訪れないのだと思います。関係機関や保護者の皆様にご意見をいただきながら、3段目、4段目に進むために具体的な事業展開の検討をしてみたいと思いますので、どんな小さなことでも、声をお聞かせくださいネ!!

このスクッピーだよりが発行される9月には、少し涼しくなっているのでしょうか?

これから過ごしやすい季節に向い、子どもたちもいろいろな経験を経て、様々な成長をみせてくれることでしょう。子どもの成長は、毎日見ているご家族には気がつかないほどの小さな変化かもしれませんが、小さな変化の積み重ねが、これからの大きな成長の土台になっていくことは間違いありません。どうぞ、お楽しみに!

子ども発達センター長 田中 けい子



## たのしい!おもしろい!きもちいい!

4月に新しい体制でスタートをして、早いもので4ヶ月が過ぎました。いつもの夏よりも何倍も暑く感じた今年の夏を元気に乗り越え、通園するお子さんたちの笑顔!その笑顔に私たち職員はパワーをいただいて、一緒にこの夏を乗り越えました。

特に水遊びやプール遊びのときの嬉しそうな顔。初めは怖がっていたのに、少しずつ慣れて、水の冷たさや水面がキラキラ光るのを心から楽しんでいました。この4ヶ月の間、どのお子さんにも毎日の成長や変化が見られ、その子なりのたくましさを感じられます。4月には新しいお友達や先生に不安そうな表情が見られましたが、今では自分からお友達や先生にかかわろうとしています。

そんなお子さんたちの成長を見ながら、私たちも負けないように成長するぞ!!と思っています。

毎日、色々な「たのしい!おもしろい!きもちいい!」を体験することは、子どものこの時期にしかできないことかもしれません。今だからできることがたくさんあるこの時期に、時には一緒に悩んだり、時には一緒に楽しんだり.....様々な形でこれからもお手伝いさせていただきます。

通園事業あゆみ 園長 田崎 明子



## 保健担当より



今年の夏は猛暑続きでお子さんの体調管理が大変だったことと思います。これから涼しく過ごしやすいなってきますが、夏の疲れがでてくる頃ですので無理のない生活を心がけてください。9月は食中毒も多いので、油断することなく食品管理にも気を配っていきましょう。

お子さんを育てていく上で、怪我はつきものですが、子どもは、小さな怪我を通して身のこなしができてきます。また、危険に対しての回避を学習しながら成長していきます。私達大人もそれらを越えて現在があります。

今回はお子さんを育てていく中で、誰もが経験する「頭部打撲」について書きます。

頭部打撲は傷口が見えなく、大事なところだけに大丈夫かなと不安は大きいものです。

子どもは大人と比べて体に対する頭の割合が大きいので、重心が高く、転ぶと頭を打撲しやすい状態になります。

受診してレントゲンを撮って骨折はないか、CTスキャンを撮って出血はないかなどと、念のため検査をすることも時には必要なこともあります。頭を打った後に、大泣きしてからだを動かしてその後も機嫌が良いなら、まず一安心です。水分を多めにとって様子を見ましょう。

たんこぶができたなら、その部位を冷たいタオルや冷却シートで冷やします。当日は運動を避け、できるだけ静かに過ごしましょう。

ただ、頭を打った後はたとえ元気にしていても、2～3日は気をつけて見ていくことが大切です。

そして、次のような症状がある時はすぐに脳神経外科の医療機関を受診する必要があります。

- ・打撲後すぐに泣くこともなく、ぐったりしたりぼんやりしている。放っておくとすぐに眠ってしまい、起こしてもなかなか起きない。
- ・けいれん（ひきつけ）が起こる。
- ・吐き気や嘔吐（食べ物を吐いたり、何も食べないのに物を吐く）が何回も起こる。
- ・打撲部だけでなく、頭全体を痛がる。
- ・手足が動きにくく、しびれたり、歩き方がおかしい。
- ・耳や鼻からの出血や透明な液（髄液）が出る。
- ・熱がどんどん高くなる。
- ・打撲した部分が凹んだり（陥没骨折）出血している。

大きな事故にならないよう、安全な環境を整えてお子さんの事故を予防していきましょう。



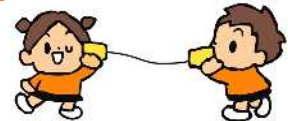


## この言葉はどんな意味？

子ども発達センターではさまざまな専門職員が働いています。  
「この言葉はどういうこと？」や「この職員はどんなことをしているの？」と疑問に思われた方もいらっしゃるはず…。今回は3つの専門職について詳しくお伝えします。

### 言語・心理療法（S T : Speech-Language-Hearing Therapy

### 心理 : Psychotherapy）



言語聴覚士は「S T (エス・ティ)」（Speech - Language - Hearing Therapist）、心理士は職場によって呼び方が異なることがあります但当センターでは「心理士」と呼ばれています。

保護者の方からのご相談内容としては、「ことばが遅い」「ことばが増えない」「ことばの理解に問題がある」「どもる」といった言語面のご相談、「視線が合いづらい」「コミュニケーションが一方的」「集団行動がとれない」「友達と遊べない」といった対人・コミュニケーション面のご相談、その他、「耳のきこえが心配」「こだわりが強い」「動きが激しい」「落ち着きがない」「感情のコントロールが難しい」等...があります。

言語聴覚士、心理士は、お子さんの発達をことばだけではなく総合的にとらえ、お子さんの得意な部分をさらに伸ばし、苦手な部分の発達を促すような指導を行います。その指導の形態はお子さんの必要に応じて、個別的にまたはグループ形式で行われます。子どもの自主性、興味を尊重しながら遊び形式の中で指導を行うのが、当センターの基本姿勢です。保護者の方や関係機関の職員からの相談に応じたり、お子さんへの基本的な対応方法などについて助言等も行います。

お子さんのことについて、気がかりなこと、悩まれていることがありましたら、いつでもご相談下さい！

### 作業療法（O T : Occupational Therapy）



「作業療法」の名称は、英語の「Occupation」ということばからきています。「Occupation」には『仕事・職務』などの日本語訳がありますが、その人にとっての“楽しみ”や“生活の一部”など“有意義な”ことをして「時間を費やす」という意味が含まれています。

子どもたちにとって“意味ある時間の費やし方”といえば、やはり「遊び」です。子どもたちは「遊び」の中でさまざまなことを学び、獲得し、心身ともに成長していきます。

作業療法は、「遊び」の中にあるさまざまな要素を考えながら、子どもたちが、“新しい発見をして、おもしろくて、たのしくて、うまく行って、もっともっとやりたくなる！”を実践することで、運動機能や活動能力、適応力や社会的能力などの育ちを支援します。

また、子どもたちの“生活の一部”として大切な日常生活動作（食事、排泄、入浴、整容など）についても注目し、快適な生活のために一緒に考えていきます。

子どもたちのキラキラした目と生き生きした表情は、私たちにとっても元気のみなもとです。子どもたちの日々の生活が、そして未来が、より豊かなものになるように願いつつ、今この子どもたちとの時間を「Occupation」していけるといいなと思っています。



## 理学療法 (PT : Physical Therapy)



理学療法とは、お子さんの場合、基本的動作・粗大運動の獲得・発達促進を図るため運動をもちいて援助していくことをいいます。基本的動作・粗大運動とは具体的には、くびがすわること、おすわりをすること、はいはいをすること、歩くことなどのことをいいます。大人の方の理学療法というと、再び座れるようになりたいから座る練習をする、歩けるようになりたいから歩く練習をする、つまり座ることや動くことが目的となりがちです。しかし、お子さんの場合はどうでしょうか。遊びたい・楽しみたいからそのために座る・動くと考えたほうが自然だと思います。遊ぶ・楽しむという目的のために座る・動くなどの手段を獲得していきます。そのため、理学療法においても遊びたい・楽しみたいという気持ちを引き出すことが大切です。座ってほしい、歩きたいという意欲を持ってもらうために楽しく、生活に取り入れていきやすい遊びを通して、運動機能を伸ばしていくことができるよう支援していきたいと考えています。

また、将来的に変形（関節のずれやゆがみ）や拘縮（身体が硬くなること）がおこる可能性があるお子さんもいらっしゃいます。その可能性を持つお子さんに対しては、ストレッチ等をもちいてこれらの予防・軽減に努めます。

その他身体（関節や筋肉）に負担をかけてしまう姿勢をとったり、動き方をするお子さんに対しては補助具の使用や、体の使い方の改善など、負担の軽減を図る支援をします。



## 子ども発達センター保護者の活動より

### 子ども発達センター友の会「スクッピー友の会」



#### 第1回スクッピー友の会おしゃべり会のご報告

7月12日、子ども発達センター3階プレイルームにて「スクッピー友の会 おしゃべり会」を行いました。今回は連絡が行き届かず、開催した事も知らない方が多数いたことと思います。申し訳ございませんでした。そんな中、参加者は21名と大盛況でした！

当日は、まず発起人3名の紹介、発達センターの松原係長、通園あゆみの田崎園長より一言ずついただきました。

プレイルーム内に保育コーナーを設け、椅子を輪にして全員の顔がみえる形で自己紹介。結局午前中は、この自己紹介で終わってしまいました。

みなさん一言ではしゃべり足りないようで、それぞれの悩みや質問に答えながらだったので仕方なかったかなと思います。次回からは進め方を考えたいと思っています。

事前に卒園児のお母さんの話を聞きたいとの要望があったので先輩ママにも参加していただき、小学校でのお話や、質問に答えてもらったりしました。

普段同学年のお母さん同士での話はできて、旧あゆみ学園卒園者のママと話す機会はみなさんあまりないようで、「参考になった」「良かった」などの感想をいただきました。

12時から机を並べ、ランチタイム（ほとんどがコンビニ弁当？）その時間に個人的に質問をしたり、仲よしグループでお食事タイムの人もいました。

こんな感じのおしゃべり会でしたが、今回参加ができなかった方も、次回は是非参加してみてください。次回はまだ日にちが決まっていますが、各階の掲示板をセンター利用時にはチェックしてください！また、今後はメーリングリストでの連絡の準備をしております。準備が整い次第こちら掲示板にて案内させていただきます。

## おやじの会



「おやじの会」は、子ども発達センターの前身である「あゆみ学園」の時代から始まった、在園児のお父さん方を中心に、子ども発達センターの先生方や、卒園児のお父さん方も交え定期的開催している飲み会です。時には、「子どもの話」で先生方や、先輩お父さん達から貴重なお話を伺えたり、単なる飲み会ネタで大いに盛り上がったり、「懐の深さ」と「幅の広さ」がウリのアットホームな飲み会です。(年4～5回開催)

要は単なる「飲み会」なのですが、このような会合はとても貴重な集まりだと思います。通園、発達支援といった部門を越え、このような「飲み会」繋がりが、就学後も、いろんな局面で支えになることもあろうかと思えます。

当会、これからも、幅広く皆様に参加を呼びかけていきたいと思っておりますので、まだ参加されたことのないお父さん方、子ども発達センターの先生方にも、是非お気軽にご参加いただき、「おやじの輪」を一緒に広げていきましょう！お母さん方からもぜひ旦那さまにお知らせいただければと思います。詳細は掲示板で！

## 親の会「みんなのサポートネット」



### みんなのサポートネット学習会

「安心して地域でくらすために ～なんでも相談 懇談会～ パート2」

日時 9月9日(木) 10:00～13:00

講師 (社会福祉士、臨床心理士)

場所 調布市文化会館たづくり 1002 学習室

掲示板を

よく見てね☆

「こころとからだの学習」

日時 10月3日(日) 13:30～16:30

講師 (もと知的・肢体不自由 特別支援学校教員)

場所 調布市文化会館たづくり 1002 学習室

詳しくは子ども発達センター掲示板または親の会「みんなのサポートネット」まで。

幼児から小学生のお母さん向けの懇談会を10月～11月あたりに予定しています。

詳しくは9月以降、チラシか掲示によってお知らせします。

## あゆみ父母会(通園部門)



子ども発達センター通園事業父母会は、1年間を通じていろいろなイベントに参加しています。8月には通園事業でなつまつりが行われ、父母会でもゲームや景品を用意し、協力しあい、楽しいお祭りとなりました。今後も、父母会親睦会や子どもの集いなど、情報交換や交流を強くできるよう、進めていきたいと思えます。

そして、スクッピー友の会の親睦会では、父母会の交流だけでは得られない交流もできると思えますので、皆さんもスクッピー友の会の親睦会にどんどん参加し、盛り上げていきましょう。



## 発達センターからのお知らせ

### 運営会議報告について



平成 22 年 3 月 23 日に行われました、「平成 21 年度第 1 回調布市子ども発達センター運営会議」の議事録要旨を保護者交流室に置かせていただきました。どうぞ自由にご覧ください。また、平成 22 年 5 月 21 日に開催いたしました平成 22 年度第 1 回運営会議の議事録要旨につきましては、次回運営会議での了承後、保護者交流室に置かせていただきます。  
なお、次回運営会議は 10 月 22 日を予定しています。

### 保護者勉強会について



「きょうだい児のケアについて」

日時 平成 22 年 9 月 28 日(火) 10:10~12:00

講師 (臨床心理士)

対象 子ども発達センター利用保護者

場所 子ども発達センター 1 階ホール

申し込み締め切り 9 月 10 日(金)

詳しくはお知らせをご覧ください。



## 編集後記

今年の夏は本当に暑かったですね！

センターでは水遊びやプール遊びをする子ども達の楽しそうな声がたくさん聞かれました。大きなプールで思いっきり遊べた子、ドキドキしながら足をつけてみた子、たらいで水遊びを楽しんだ子。一人ひとりの水に対する反応が違うので、無理のないように遊ぶことができました。もうすぐプール納め。また来年、入れるのを楽しみにしててくださいね。  
9 月に入ってもまだまだ暑い日が続くとのこと…。保護者の方も体にお気をつけてお過ごし下さい。

